

九条北小学校 校長室だより

NO.33 令和6年11月11日



早いもので、11月も半ばとなってきました。11月は、別名「霜月（しもつき）」とも言い、秋から冬へ向かう季節という意味があるそうです。その名の通り、急に寒さを感じるようになりました。

先週の児童集会の後、「文化と健康のつどい」図画展に入選した児童へ表彰状を授与し、全校児童から拍手を贈りました。どの作品も、温かい雰囲気の商品となっていました。

★ 全校オリエンテーリング～たてわり班で 協力して！ ★

11月1日（金）、大阪城公園へ行き、たてわり班で全校オリエンテーリングをしました。今年は森ノ宮駅から入り、市民の森をスタート・ゴールとしてオリエンテーリングをしました。6年生をリーダーに縦割り班で協力して、各ポイントで先生から出題された課題に取り組みました。お昼ごろに天候が怪しくなったため、お弁当は学校に戻って講堂でいただきました。



★ 「思いやり月間」～相手の気持ちを考えて！ ★

* 児童朝会では、次のような話をしました。

先週の金曜日に、代表委員会より「全校遠足」で満点の班がたくさんあったとの報告がありました。おわりのつどいでも伝えましたが、6年生がやさしく接している様子や班のみんなが協力してオリエンテーリングをしている様子が、すばらしかったです。また、「全校清掃」でも、同じように、みんなが協力して取り組んでくれていました。とてもうれしいです。

さて、**11月は「思いやり月間」となっています。**そして、**11月の生活目標は「相手の気持ちを考えて行動しよう」**です。

「相手の気持ちを考えて」というのは、とても大切なことですね。「いじめについて考える日」にも伝えました。「いやだな」と感じることは、人によって違いがあります。人はひとりずつ、みんな違います。違いがあってあたり前なのです。だから、自分は平気だからと言って、お友だちが平気とは限りません。自分と違う感じ方や思いがあることを理解し、そういったお友だちのことを理解できる人であってください。みんなの力で、九条北小学校を「いじめのない、だれもが楽しいと思える学校」にしてくださいと伝えたのを覚えていますか。

同じように、「うれしい」と感じることも、一人ひとり違いがあってあたり前です。でも、**相手のことを思って伝えた言葉や行動は、必ず、相手に伝わると信じています。**

各学級で「九条北ありがとうの星」の取り組みを進める予定です。すでに実施してくれた学級もあるかもしれません。「相手にしてもらってうれしかったこと」や「相手に言われてうれしかったこと」をメッセージカードに記入してもらいます。

みなさんの書いたメッセージカードを、1階の掲示板に「ありがとうの星」として掲示する計画です。**思いやりの心あふれる「ありがとうの星」ができあがるのを楽しみにしています。**

